

J A 共済杯 第46回 神奈川県小学生バレーボール大会の注意事項

J A 共済杯 第46回神奈川県小学生バレーボール大会をより安全に行なうため、注意事項は以下のとおりです。事前にご確認いただき、大会に参加するようお願いいたします。

<大会運営上の注意>

1. 入場について

- ① 入場の際は、役員の指示に従い入場する。
- ② 入場者は安全管理上、名札かワッペン、リボン、揃いのシャツ等を着用する。（選手を除く）
- ③ 体調が優れない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）は入場を控える。
- ④ チームごとに決められたエリアを控え場所とする。

2. 開会式及び閉会式について

- ① 開閉会式への参加は参加申込書に登録された選手とする。
- ② 一日目は開会式を行なう。（チームプラカードを持参する。二日目は開始式を行なう。）
- ③ 一日目、二日目とも試合に先立ち監督会議を行なう。

3. 応援・控え場所について

- ① 鳴り物（太鼓、ラッパ、ペットボトル・メガホンを叩く等）を使った応援は認めない。
- ② のぼりや横断幕は、試合をしているチームのみが掲示できる。開会式ではどのチームも掲示できない。また、自チームの試合終了後は速やかにのぼりを倒し、横断幕を外すこと。
- ③ 控え場所の最前列は使用せず、応援のために空けておく。
- ④ 食事は決められたエリアで行なう。
- ⑤ 退出時には、利用場所をチームで確認し、ゴミ等は持ち帰る。

4. 大会1日目の進行は、参加チームの協力によって行なう。

5. 上記以外の運営に関することについては、会場の運営責任者の判断によるものとする。

<競技上の注意>

1. 本大会は、2025年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制の競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則に則り行なう。

2. 試合は3セットマッチ追い込み方式とする。

- ① 試合が連続する場合は、最大15分の休憩をとるが状況により大会本部が決定する場合がある。
- ② 昼食の時間は、原則的に一斉には取らない（試合進行状況による）。
- ③ 大会運営上、試合順やコートが変更する場合がある。

3. 試合前の公式練習は、有効な構成員（登録された監督・コーチ・マネージャーと選手14名）で行う。

4. 監督・コーチ・マネージャーは胸章を必ず左胸につけること。また、1名以上は指導者受講証かコーチ資格の証明書を胸に下げていなければならない。

5. 監督・コーチ・マネージャーは、必ず同じ色彩の、襟付きシャツと長ズボンを着用すること。
半ズボン・Tシャツは不可。なお、スーツ・ネクタイ着用は可とする。
小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツの着用を認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
6. 選手は、必ず同じ色・形のユニフォーム及びソックス（安全上くるぶしが見えるものは不可）を着用すること。袖のないユニフォームは選手の安全性を考慮し禁止とする。
7. ベンチには、必要なもの・飲料水（水筒・ペットボトルは不可）・タオル・救急用具以外のものは持ち込まないこと。応援用のものは持ち込みしない。ただし、大人のペットボトルの使用は構わない。
8. 試合中にコートが汗で濡れた場合は、コート上の選手が速やかに拭くこと。
9. テクニカルタイムは以下のように設定する。
 - ① 第1・第2セットはリードするチームが、11点に達したとき、デュースが続く場合は両チームが31点に達した時に適用し、その後は両チームが10点ずつ積み重ねた段階で適用する。
 - ② 3セット目はリードするチームが、8点に達した時にチェンジコート後に適用する。デュースが続く場合は両チームが21点に達した時に適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
10. 試合開始前及び試合終了時は、両チームがエンドラインに整列し、挨拶（礼をする）後にネットまで進み出て、お互いに握手をしてベンチに戻る。
11. チームの入替えに支障が無いように、試合終了後は速やかにコートおよびベンチを空ける。
12. 上記以外の競技に関することについては、会場の競技責任者の判断によるものとする。

<審判上の注意事項>

1. 試合の開始前、終了時には監督・選手・審判はお互いに握手を行なう。
2. テクニカルタイムは選手の健康と安全に配慮したタイムアウトであり、選手は給水または休息する。
3. インターバル（セット間）は、3分を計時する。コートチェンジは、コートメンバーはエンドラインに整列後、コートに向かって右側の支柱の外側を進みベンチに戻る。
4. 大会一日目の審判については、参加チームでファーストレフリー・セカンドレフリー・スコアラー・ラインジャッジを担当する。
5. 上記以外の審判に関することについては、会場の審判責任者の判断によるものとする。